



社会福祉法人ふたかみ福社会

2023(R5)年度事業報告

2024(r6)年度 6月21日評議員会

理念:かがやく命を大切に作る社会をつくれます

はびきの園.....	2
ハピバール .....	4
ほまれっこ.....	7
生活耕房 .....	9
支援センターはる.....	12
研修報告.....	18

## 2023 (r5)年度事業総括

事業所名 はびきの園

### 【事業所の特徴】

コロナ感染症の脅威が落ち着きをみせ、2類から5類相当へ移行されました。ウィルス自体は依然あり、感染対策は続けています。しかし当初のような緊張感はなくなり、対策を続けながら、様々な取り組みを進めてきた事は価値ある経験となりました。また、対策も皆で知恵を出し合いながらきた事は今後の対策にもつながる事でした。

報酬改定についてはとることのできる加算を取り、利用者が5名増える事もあり収入が増えるよう対策を取っています。来年の利用者増を見越しながら受け入れの準備を早い段階からする事が出来ました。利用率も高位で推移しており、来年度には定員を増やす見込みです。高齢利用者やその親の課題は依然としてあります。老朽化した施設の建て替えも課題ですが、予定通りの積み立てをする事ができています。

### 【利用者支援に関して】

①市内の計画事業所が減りました。職員の知識向上に努めました。今後親の高齢化も進み、事業所・職員が更に頼られる存在になっていくと考え、来年度も引き続き学習を続けていきます。また、医療について知識や情報を大切にしてきました。

②14名の集団になっていたリサイクルを分割した事を利用者支援は丁寧に行えるようになり、課題にあった取り組みを進める事が出来ました。基礎集団を越えての取り組みも徐々に進める事が出来ています。

③就労支援収入は好調で、賞与も例年よりも多く支給する事が出来ました。要因は積極的に新しい仕事を取っている事とリサイクルの買取価格の高止まりです。

④行事も全体でできるようになってきています。日帰り旅行も復活することが出来ました。

### 【事業所運営に関わって】

①運営を安定させるために開所日は限界まで行いました。その分長期休暇の時の職員確保には課題がありました。出来るだけ通所してもらえ工夫も行いました。

②BCP(業務継続計画)は作成しましたが、現実につかえるものに更新作業を進めています。

### 【職員育成研修】

対処ではなく、できるだけなかまの想いに近づける事を目指しました。外部研修も少しずつ行い、法人と連携して職員の経験に応じた研修を行ってきました。

### 【地域や他団体との連携】

①地域:羽曳野市作業所連絡会、校区福祉委員会等地域の取り組みに積極的に参加しました(駒ヶ谷子供祭り・駒ヶ谷フェスタ×2)

②広報: SNS を活用して、普段の様子や行事を中心に発信しています。また、法人の想いも載せる事がありました。

③障害運動:羽曳野市内の活動は少なかったですが、報酬改定や障害課題を巡り広範な連携を作りました。

## 2023 (r5) 年度後期事業報告

2024年3月31日現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
はびきの園	生活介護Ⅰ	30	34	2019/4/1-2025/3/31
	生活介護Ⅱ	7	10	2019/4/1-2025/3/31
	就労継続支援B型	10	9	2019/4/1-2025/3/31
合計		47	53	

### 職員配置数

事業内容	配置基準	配管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
生活介護Ⅰ	13	1	1		12.5		1	3	5	23.5
生活介護Ⅱ	3.6	1	1		3.6		1			6.6
就労継続支援B型	2.1	1	1		2.1					4.1
就労移行										

### 利用者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男	1	10	11	8	1	1	0	32
女	0	4	7	7	2	0	1	21

53

### 利用者(支援区分)

事業内容	非該当	1	2	3	4	5	6	計
生活介護Ⅰ				1	3	17	13	34
生活介護Ⅱ							10	10
就労継続支援B	3		1	2	3			9
就労移行								0

53

### 協力医療機関

ぶどうの家診療所 前川ドクター

### 利用率 当月延べ利用者数/(当月-8日)\*定員 (%)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用率
生活介護Ⅰ	101	103	107	103	101	99	99	103	101	103	104	103	102.5
生活介護Ⅱ	77	84	88	80	87	91	85	88	91	71	74	70	84.3
就労継続支援B型	85	85	87	83	83	87	81	86	84	85	87	81	84.9
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	20	21	23	267
延べ利用率(%)	94.2	96.5	99.9	95.2	95.1	95.4	93.3	97.7	96.4	95.1	96	94	95.7%

### 利用者工賃(就労継続支援B型) (円)

最高額/月	34460 (32460)	最低額/月	3840 (4950)	平均工賃/月	18858.9 (18701)
-------	---------------	-------	-------------	--------	-----------------

( ) 内半期前実績

## ハピバール

### 【事業所の特徴】

就労継続 B 型2名の利用者を新しく迎え総勢 21 名となりました。そのため、班編成を変更し、各班の班長を選出して班長会を実施するなど自治活動が進んでいます。

支援学校から4名実習を受けいれました。そのうち、1 名から来年度の利用希望が出ています。それ以外にも適宜見学、体験を受け入れています。

昨年の異物混入再発防止のため実施している5S 研修により事業所内の環境整備だけではなく、業務改善もできています。

### 【事業所運営に関わって】

- ・ハピバールの空間の狭さを解消するため増築の検討を始めています。
- ・外部講師を招き、5S 研修を実施したことで、環境や業務等見直しことができました。
- ・10 月に大阪府の現地指導を受け、指摘された点については、改善しています。

### 【地域とのつながり】

- ・家族や近隣の事業所、学校などから紹介してもらい商品の受注や食事の配達などつながりが続いています。
- ・埴生南小学校 5 年生の授業になかまと一緒に講師として話をしました。
- ・西浦幼稚園、西浦小学校と交流をおこないました。
- ・地震想定避難訓練では、西浦小学校と日時をあわせ、小学校グラウンドへ避難しました。
- ・校区福祉委員会に参加して、地域の状況を知るとともにハピバールを知ってもらう機会としています。
- ・カタシモワイナリー、峰中出張カフェ、まちまるしえ、meetyou などイベントに出店しました。

### 【利用者支援に関して】

#### 【労働】

##### <カフェ>

- ・昨年度に比べて売り上げは改善しています。コロナ禍で始まったテイクアウトも定着しています。また他の事業所から取り組みとして来店予約をいただくことも増えています。
- ・5S 活動により作業効率が上がったこと、誰でも使いやすい方法を考えることで、仲間に担ってもらえる作業も増加しています。
- ・1 月より値上げを行いました。

##### <ワークス>

- ・イチゴのへた取り、ぶどうや無花果の皮むき作業では、曜日によって午前、午後と分かれて作業を行っています。異物混入後から実施している異物チェック、5S 活動で整理整頓清掃を行い清潔に努めています。
- ・昨年より曜日を決めて定期的に陶芸取り組みました。撥水剤や釉薬をつける作業もなかまに取り組んでもらっています。
- ・絵画リース事業は、現在2件の実施になっています。リース作品 2 点が購入につながりました。
- ・複数のコンクールに申し込みをおこないました。産経はばたけアート展は優秀賞、佳作の選出で梅田の商業施設にて展示・表彰式が行われました。きょうされんグッズデザインコンクールでは入賞と入選に選出されました。
- ・名刺受注が新規8件、継続5件ありました。
- ・アバウトミーへ参加しました。3 名の作品が展示され、展示会には観覧にいく取り組みを行いました。

た。

【生活】

- ・ボーナスは赤字のため夏・冬ともに0.5月分の支給となりました。
- ・週1回看護師、月1回医師による健康チェックをおこなっています。体調の変化に応じて様子を診てもらえることができていること、家族との健康状態の共有なども密に行っています。また、5S活動で薬の管理方法を変更したことにより、服薬ミスも減っています。

【集団】

- ・総勢21名となったことから、2班体制から3班体制へと変更をしました。班での役割を分担に加え、全体で取り組んでいる活動でも役割分担などをおこないました。3班体制になったこともあり、各班の班長を決め、班長会を実施するなど自治会として少しずつ動き出していますが、内容の理解は難しいことも多く、今後どのように運営していくか検討が必要です。

## 2023 (r5) 年度事業報告

2024年3月31日現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
ハピバール	生活介護	10	11	2024/4/1~2030/3/31
	就労継続支援B型	10	10	h30/4/1~2024/3/31

### 職員配置数

事業内容	配置基準	比 管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
生活介護	2.5:1	1			6		1	3	2	8
就労継続支援B型	7.5:1	1			3			3		4

### 利用者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男	1	2	1	4			2	10
女	2	5	2	2				11

### 利用者(支援区分)

事業内容	非該当	1	2	3	4	5	6	計	平均
生活介護				1	1	7	2	11	4.9
就労継続支援B	1			4	4	1		10	3.25

協力医療機関

ぶどうの家

利用率 当月延べ利用者数/(当月-8日)\*定員 (%)

事業所名	ハピバール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用率
生活介護		100	101	102	101	101	98	97	101	102	99	98	100	100.0%
就労継続支援B型		70	65	72	60	64	65	66	70	64	61	65	63	65.0%
開所日数		22	23	22	23	23	22	23	22	23	21	21	23	268
利用率		85%	83%	87%	81%	83%	81%	81%	85%	83%	80%	82%	81%	83%

利用者工賃(就労継続支援B型) (円)

最高額/月	12000	最低額/月	1125	平均工賃/月	9778
-------	-------	-------	------	--------	------

事業所名 ほまれっこ

#### 【事業所の特徴】

昨年度から、ほまれっこ卒業後に法人の事業所を利用する児童が増え、今年も3名がはびきの園に通所します。法人への信頼、期待をしていただいていることを実感しています。

半面、入所者が少ないことで年々利用者が減っている実態があり、収入が大きく減少してしまいました。契約12名であっても毎日利用する児童が少ないので日額計算の報酬では厳しい状況にありました。

来年度は報酬改定もあり基本報酬をはじめさらに厳しい改定となるので、対応を考えていく必要があります。

#### 【事業所運営に関わって】

昨年度末に小学部女児の新規利用があり12名の登録で2023年度がスタートしました。久しぶりの小学生の児童が2名となり、にぎやかな雰囲気と年齢を超えたつながりもできていい関係性ができていました。

しかし、比較的障害の重い児童の中で、地域の小学校に通学している男児が利用日に一緒に遊べる友だちが少ないことや家庭の事情などが重なって利用が難しくなり10月末で退所となってしまいました。

1月に相談支援事業所から紹介を受けたとのことで家族からの相談があり、2月から中学部1年生の利用があります。

車両2台に安全装置を設置しました。

#### 【利用者支援に関して】

- ・ クリスマスや節分など季節を感じられる取り組みははびきの園の職員に協力してもらい、サンタや鬼に扮してもらうことで、夢のある活動を行うことができました。児童の喜ぶ姿がありました。
- ・ コロナになってから行っていなかった電車を利用しての外出を行いました。久しぶりの利用でしたが、混乱や緊張もなくスムーズに利用できました。
- ・ 思春期の児童の問題行動といわれる行動も表面だけをとらえるのではなく、なぜその行動に出るのか、心の動きを理解しながら、職員間で検討して支援しています。

#### 【職員育成研修】

- ・ 正規職員は週1回のミーティング、アルバイトスタッフを含めた全員で月1回研修内容、情報共有や実践の確認を行っています。

#### 【地域や他団体との連携】

- ・ 大阪障害児放課後ネットワーク、はびネットに参加し、大阪府への要望や情報共有、学習会などを行っています。
- ・ 6月に障害年金の学習会、2024年2月に自立についての学習会を行い、家族をはじめ他事業所の方々にも参加していただきました。

## 2023 (r5) 年度事業報告

2024年3月31日現在

事業所名	指定事業名	定員	契約者数	事業有効期間
ほまれっこ	放課後等デイサービス	10	12	2018.5.1～2024 (r6) .4.30

### 職員配置数

事業内容	配置基準	児発管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
放課後等デイサービス		1		3		1			1	6

### 契約者数(年齢)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男							1	1	2	1	1	2	8
女					1						1	2	4

利用率 当月延べ利用者数/(当月-8日)\*定員 (％)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延べ利用人数	121	124	120	128	112	123	117	119	124	117	118	121	121
開所日数(提供日)	24	23	24	25	20	24	24	24	24	24	23	24	
利用率	50%	54%	50%	51%	56%	51%	49%	50%	52%	49%	51%	50%	51%

協力医療機関



## 障害者生活耕房 はばたき 事業報告案

### ① 基本的な生活(食事・排泄・健康)

服薬支援がたくさんあり、服薬の事故報告がたびたびあります。解決策を改善してはいますが、ゼロになりきれない事実があります。また通院支援の数も増えており、表への記入、カレンダーへの記入などを行うことで、通院漏れの無いように試行してきました。

排便確認や食事などにも配慮し、なかまの健康な生活を送ることができるよう心がけています

衣服の調節や居室の整理など、一定自分でおこなっていると思われる仲間の課題があります。本人の「やりたい」気持ちを尊重しながらも、本人ではでききれていない部分をどう支援していくかは、職員との信頼関係が大きいと思います。そんな信頼関係がもてる関係作りが今後できていければと思います。

### ② 暮らしの充実

仲間の暮らしを守る上に当たって必要な支援(日用品・衣類・散髪など)に関して、職員が気づき支援していく力が求められています。交代勤務での難しさがあるため、職員複数体制での支援をおこなってきましたが、複数での困難さ(引継ぎ不足や責任の所在地)もあり、来年度は1ホーム担当は1人でおこなっていくことを試行していきます。

なかまの暮らしをよりよくするために「仲間の声」を聴く力、職員同士で語り合い仲間の生活について考える力をつけていくことが問われるかと思えます。「仲間を中心に」生活ができるようにして今後も支援していきます。

### ③ 集団での暮らし

個々の生活に着目した支援が重要なグループホームですが、一緒に暮らす仲間との「楽しみ」も必要だと誕生会や「イベント」をおこなってきました。

コロナウイルス感染症が5類になりましたが、感染対策に関しては以前と変わりなく、職員の欠員や仲間の発熱時の対応は変わりなくおこない、感染拡大防止に務めています。

### ④ 地域生活

駅前輪場にて警察に保護をされ、駐輪場へ謝罪と今後についての話し合いをおこないました。トラブルがあった際の、説明や障害の理解をしてもらえるように、今後も取り組んでいく必要があります。会社や相談支援機関とも連携や情報共有する機会も多くありました。

仲間の暮らしが事業所の職員だけで完結するのではなく、引き続き社会資源(移動支援など)を活用しながら地域社会の中で過ごすことができるようなホームであることを大事にしていきたいと思えます。

羽曳野市の自立支援協議会に参加し、災害時対応についてと、現状の課題を共有することができました。

1月に仲間が救急搬送し、入院することがありました。障害のある仲間の治療に懸念をもつ病院も数多くあり、たまたま救急搬送先の病院が入院もできると言うことで入院することができましたが、以前から課題のあった「入院先」には今後も悩まされることが予想されます。

### ⑤ 人材確保

人手不足が顕著になっています。

人材広告などの掲載をしながら、人手の確保に努めていますが、なかなか手応えの無いのが現実です。

働き出してもらえたアルバイト職員に、続けて勤務してもらえる環境をつくりながら、紹介制度も継続しておこない、人材確保につなげます。

人手不足問題に加えて、働く人に、障害のある人たちの理解をした支援をしてもらうことの難しさがあります。

日々の引継ぎや一緒に勤務する時間を通して法人理念、虐待防止や不適切支援の説明をおこなっていき、支援の質の向上をはかっていきます。

① 安心と自分らしい生活を保障します。

- ・利用当初は不安から夜間落ち着かなかった利用者も年数を重ねるごとに穏やかに過ごす様子が見えてきました。
- ・初めての利用者は、ほまれの里の雰囲気になじめるかが課題の一つになりますが個室があり、その中で自分のペースで過ごすことができました。利用しやすい事業所を目指します。
- ・2月末から1週間緊急で利用者1名受け入れを行いました。
- ・相談支援から利用方法の問い合わせがあった際には曜日固定ではなくある程度調整をゆだねてもらえれば利用回数を確保しやすいと伝えるようにしています。
- ・児童のケースについては相談支援が家族の予定だけでなく子ども家庭センターや児童養護施設など他機関も含めて予定を調整しているケースもありました。未契約の状態でしたが児童の居場所がないということがないよう受け皿としてほまれの里としてもできるだけ調整に努めました。

② 利用者が気持ちよく過ごせる環境を作ります。

- ・お気に入りの寝具や嗜好品などを持参してもらい利用者本人が安心できる環境を整えました。
- ・気持ちよく過ごせるよう、夜勤業務内の清掃に加え定期的に清掃を行っています。

③ 利用者の安全を守ります。

- ・水災害を想定し、グループホームあさがお2階への避難訓練を初めて行いました。落ち着いた様子で避難することができました。メンバーが変わるため引き続き来年度も行っていきます。
- ・身体介助が必要な利用者の入浴等は2人体制を作り安心して入浴できる体制作りをおこなっています。必要な際はグループホームからも応援できるように努めています。
- ・大西記念センターで職員の体調不良が重なり職員が不足したため閉所する日がありました。事故や感染拡大のリスクを抑えられたと考えます。

④ 人材の確保、育成を行います。

- ・アイデムなどの求人広告等を活用し人材確保に努めているところです。
- ・利用頻度が少ないかつ、支援が難しいようなケースについては常勤職員を中心に対応し理解を深めているところです。

## 2023 (r5) 年度事業報告

2024年3月31日現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
はばたき	共同生活援助	33	33	2018年10月1日～2024年/9/30

### 職員配置数

事業内容	配置基準	比 管	主任	支援員 (加算)	支援員	世話人	看護師	調理員	運転手	計
共同生活援助			1		3					3

### 利用者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男			5	15	2			22
女			1	8	1		1	11

事業内容	非該当	1						2			平均区分	平均年齢	定員	建物
		1	2	3	4	5	6	計	1	2				
はばたき			2			1	1	4				4	府営住宅	
第2はばたき					1	2	4	7				7	法人所有	
第3はばたき					1	3	2	6				6	法人所有	
あさがお						4	2	6				6	法人所有	
ハミング						2	3	5				5	法人所有	
ハーモニー				1		4		5				5	法人所有	
計			2	1	2	16	12	33				33		
利用率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(%)	
はばたき	110	103	110	111	110	108	112	111	110	101	105	113	89%	
第2はばたき	186	184	182	187	182	180	190	177	185	172	160	185	85%	
第3はばたき	161	163	160	166	163	153	154	158	166	135	120	133	83%	
あさがお	139	149	146	150	147	146	149	147	152	130	139	149	79%	
ハミング	99	105	108	98	100	80	104	109	99	91	100	109	66%	
ハーモニー	95	100	101	96	93	99	83	88	91	89	90	97	61%	
計	80%	79%	82%	79%	78%	77%	77%	80%	78%	70%	75%	79%		

### 協力医療機関

--

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
ほまれの里	短期入所	5	45	R2/10/1-R8/9/30

事業内容	配置基準	比 管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
短期入所	5:01									

事業内容	1	2	3	4	5	6	計	平均
短期入所		1	5	2	9	9	26	4.3
児童		2	4					2

※児童区分は1～3まで

### 協力医療機関

--

当月延べ利用者数/(当該月日数)\*定員 (%)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ほまれの里	41	42	45	42	53	60	42	45	46	40	48	28	44.4

2023 (r5)年度事業報告(案)2023/4/1~2024/3/31

事業所名 支援センターはる(相談・支援)

【事業所の特徴】

1. 委託相談支援

1) 個別相談

羽曳野市の委託相談支援事業。主に知的障害・身体障害のある方や事業所からの相談。権利擁護のために必要な援助も行っています。

- ① 福祉サービスを利用するための情報提供、相談
- ② 社会資源を活用するための支援(各種支援施策に関する助言、指導)
- ③ 社会生活力を高めるための支援
- ④ 専門機関等の紹介など

2) ピアカウンセリング

大阪聴覚障害者協会へピアカウンセラー紹介の依頼を行う。予約相談にて実施。

3) ネットワークの形成・参画

南河内障害者支援センター連絡会 (4/17、6/19、8/21、10/24、12/17、2/14) (偶数月開催)

自立生活センターが題材の映画“インディペンデントリビング”の上映会 11/27

その他ネットワーク形成・参画 会議・研修

羽曳野市介護保険事業所連絡協議会 ケアマネ部会 (8月22日)

南河内ブロック進路指導関係者連絡会議(12月22日 藤井寺支援学校)

羽曳野市虐待防止ネットワーク会議 (1月9日)

西浦支援学校 進路講演会 (2月27日)

4) ケース会議の開催

5) 認定調査(33件) 2月末現在

2. 羽曳野市地域自立支援推進会議

基幹設置や相談支援体制の見直し、自立支援推進会議再編に向けて、大阪府障がい相談支援アドバイザー派遣事業を活用しながら、見直しを行っている。

○ 全体会

9月14日 自立支援協議会の役割と目的 講師石井 寛人氏

(摂津市障害者総合支援センター長、大阪府障がい相談支援アドバイザー)

3月1日 重層的支援体制事業について(保健福祉政策課より)

第7期羽曳野市障害者福祉計画・第3期羽曳野市障害児福祉計画について  
(障害福祉課より)

運営会議(4/14、6/9、7/7、10/13、1/19、2/9 \*全体会の準備・相談)

○ 事業所連絡会

全体会 事業所の業務圧迫につき、開催を見合わせ。来年度以降の開催は要検討。

運営会議(5/19、1/26) 現状の共有及び課題抽出。

○ グループホーム懇談会(8月7日)

○ 重症心身障害児者及び医療的ケアの必要な障害児者ネットワーク

8/10「医療的ケア児とその家族が安心して地域で生活するために必要な連携とは」

アドバイザー松岡医師(前 豊中市保健所所長)

2/22 医療的ケア児の保育園受け入れの進捗状況確認。ロードマップ作成に向けて

○ 日中・就労支援部会(6月8日)現状の課題報告、災害時等の対応について

- 相談支援部会(4/7.5/12.6/2.7/14.8/4.10/6.12/1.1/12.2/2)  
7月14日 医療観察法研修会 講師:後藤千隼氏(大阪保護観察所)

3. 特定相談支援 実人数121件(3月末現在)

グループホームの突然の閉所に伴う調整依頼数件。

特定相談支援事業所の新規開設や再開などで、相談支援専門員の人数は持ち直していますが、兼務の相談員がほとんどの状態。国が示している「すべての相談者に相談支援専門員が対応する」といった状況とは程遠い状況です。

4. 地域移行・地域定着(一般相談支援) 0名(3月末現在)

- ① 地域移行支援 ② 地域定着支援

【事業所運営に関わって】

子ども家庭支援課が創設され、障害福祉課と家族全体支援に至る事が増えています。

保健福祉政策課が重層的支援体制整備に向けて準備を始めています。

基幹相談支援センター設置は、令和6年度内開設の方向で、市内4委託事業所と障害福祉課にて、他市の基幹相談支援センター見学と意見交換を行い、協議を継続。

大阪府アドバイザー派遣事業を開催

委託相談は消費税対象の事業所の扱いとなり、市と協議をおこない消費税額を市より預かり、納税を行いました。

【職員育成研修】情勢を把握。各職員がテーマを出し、事業所内研修を行っています。

【中期計画に対して】

- ・ KPTシートを用いて、継続すべき事と改善すべき事の洗い出しを行っています。
- ・ 委託相談と特定計画相談の業務分担に関しては、基幹相談の動向を見極めつつ、分担を進めていきます。
- ・ 職員会議にて、各職員がテーマを出し、事業所内研修を行っています。

※KPT:よかったこと、問題点、次にすること

# 2023 (r5) 年度事業報告

期間 2023 (R5) 4/1-2024 (r6) 3/31

## 1 相談支援事業

2024年3月31日現在

名称	住所
支援センターはる	羽曳野市白鳥三丁目16-1
指定事業名	事業有効期間
委託(羽曳野市)	年契約
指定特定相談支援	2024(r6)/4/1-2030(r12) /3/31
地域移行支援	2019 (h 31) /1/1-2024 (r 6) /12/31
地域定着支援	2019 (h 31) /1/1-2024 (r 6) /12/32

### -1 職員配置

管理者(兼相談支援専門員)	1	羽曳野市相談支援事業委託
相談支援専門員	4	
ケアマネジメント推進員(障害分野)	1	市相談支援機能強化推進事業
聴覚ピアカウンセラー・手話通訳者	1	随時、電話予約対応
肢体・視覚ピアカウンセラー	1	随時、電話予約対応

羽曳野市地域自立支援推進会議事務局

### -2 主たる業務

(1) 羽曳野市委託相談支援

1) 個別相談

相談者数

実人数 317 名(4/1-3-31)

障害	身体	重症 心身 障害	知的	精神	発達	高次 脳機	難病
委託相談	36	4	228	97	27	3	8

(実施方法) 委託相談

内容	件数
家庭/施設等訪問	52
面接(センター来所)	31
同行	28
電話/	615
FAX/メール	50
ケース会議	18
関係機関からの紹介	2
その他	0
合計	796

支援内容	件数	ピアカウンセラー
福祉サービスの利用等に関する相談	399	0
障害や病状の理解に関する支援	7	0
健康・医療に関する支援	135	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	75	0
保育・教育に関する支援	34	0
家族関係・人間関係に関する支援	93	0
家計・経済に関する支援	119	0
生活支援に関する支援	237	0
就労に関する支援	26	0
社会参加・余暇活動に関する支援	1	0
権利擁護に関する支援	9	0
その他	8	0
合計	1143	0

## 2023 (r5)年度前期事業報告(案)

事業所名 支援センターはる(南河内北障害者就業・生活支援センター)

### 【事業所の特徴】

家庭基盤の弱さから家族全体にサポートが必要なケースも多くなっています。また、本人の収入が家庭を支えているケースや親の介護などで仕事の調整が必要になっている人などについては、地域の相談支援機関や行政とも連携が必須となっています。

本人の収入が家庭を支えているケースや親の介護などで仕事の調整が必要になっている人などについては、地域の相談支援機関や行政とも連携が必須となっています。

### ○余暇支援活動(はるくらぶ)

職場定着促進のための在職者交流活動 交流企画

- ・5月20日(土)「ボウリング」参加者:25名/職員:2名
- ・8月5日(土)男性企画「おしゃれ発見! 買い物&カフェ」参加者:6名/職員:2名
- ・9月24日(日)「バーベキュー」参加者:23名/職員:5名
- ・12月16日(金)「日帰りバスツアー」彦根城参加者:22名職員:3名
- ・3月20日(水)次年度企画会議

職場定着促進のための在職者交流活動 学習会

- ・7月8日(土)「手話を学ぼう」参加者:13名/職員:2名
- ・9月2日(土)「冠婚葬祭マナー」参加者:5名/職員2名
- ピアサポート7月12日(水)8名 12月7日(木)5名

## 2. ネットワークの形成

地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等の実施

### ○定例参加会議(主なもの)

- ・大阪障害者就業・生活支援センター連絡会
- ・障害者就業・生活支援センター全国連絡会・地域ブロック会議
- ・羽曳野市地域自立推進会議
- ・松原市地域自立支援協議会
- ・藤井寺市障害者地域自立支援協議会
- ・南河内支援学校進路指導会議 など

### ○障害者の就労を支援する機関との連絡会(ジョブネットトライアングル)\*定例会義

事務局:南河内北障害者就業・生活支援センター

参加事業所:就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業所・地域活動支援センター  
障害福祉課、産業振興課(3市)・ハローワーク 17事業所

- ・5月25日(金)「近況・情報共有/令和5年度の取り組みについて」
- ・7月28日(金)「近況・情報共有/広報活動について」
- ・9月22日(金)社協(羽曳野市)より事業説明・情報共有  
「社協と考える就労支援～自立相談支援事業の視点から～」
- ・11月24日(金)「近況・情報共有/地域資源マップ/グループワーク」
- ・1月26日(金)「近況・情報共有/リモート事業所見学会/地域資源マップ」

\*運営会議・4月6日(木)、6月5日(月)、8月2日(火)、10月12日(木)、12月11日(月)

\*ジョブガイダンス

- ・8月29日 就労セミナー
- ・9月21日～10月17日 事業所間実習
- 障害者雇用フォーラム・働く障がい者のパネル展
- ・障害者雇用フォーラム 2023年10月3日(火)13:30～
  - ◇「障害者と向き合うための行動～企業に求められる障がい者への社会的責任～」
  - ◇「就労支援事業とは。現場支援者と障がい者の想い」
- ・「働く障がい者のパネル展」  
松原市:9/19～22、藤井寺市:10/2～6 羽曳野市:10/10～13
- 企業交流会 WEB 開催 2023年9月1日(金)4社/2024年2月27日(火)4社  
障害者雇用に携わる企業の担当者の直接意見交換
- 羽曳野市障害者雇用相談 月1回 第3木曜日

【中期計画に基づく取り組み】

- ・ケース会議でケースなどの 意見交換などを行っています。
- ・新システム導入による事務の簡素化に向けてマニュアルの作成を行いました。
- ・年間計画や担当者割を行い、役割の明確化を行いました。
- ・相談者への支援方法などを職員会議でテーマを設けて意見交換を行いました。
- ・相談支援事業と合流したことにより、情報共有を行いました。
- ・相談者・企業等の一覧の整理を行いました。相談者の登録整理を行いました。



## 2 南河内北障害者就業・生活事業（羽曳野市・松原市・藤井寺市）

2008年度より国（厚生労働省労働局）の事業に

名称	住所
南河内北障害者就業・生活支援センター	羽曳野市白鳥3丁目16番3号

### 職員配置

管理者	1	雇用安定等事業
主任就業支援担当者	1	
就業支援担当者	2	
生活支援担当職員	1	生活支援等事業・体制強化事業

### 1. 就業・生活支援活動の実績

#### (1) 就業相談

2023（r5）年度 登録者数 652名（昨年度610名）

##### ①（現状および障害別内訳）

就業状況	障害				合計
	身体	知的	精神	その他	
在職中	22	246	99	4	371
求職中	23	73	116	8	220
その他（訓練等必要な人）	4	28	28	1	61
合計	49	347	243	13	652

※障害のその他とは、障害者手帳を所持していない方

##### ②障害者に対する相談・支援件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
46	1192	885	40	2163

※相談・支援内容は、面接・電話・家庭訪問・ケア会議・職場実習支援・就労定着支援・生活支援等

○ 羽曳野市障害者雇用相談 9件

## 2023 年度研修実施

2022 年度は、ケースカンファレンス研修に重きをおいておこなってきた。ケースを書くことを通して、仲間をさらに知り、集まったメンバーやカンファレンス担当職員から意見をもらうことで多様な考えを吸収することができ、参加した職員からも好評であった。2023 年度もケースカンファレンス担当職員を中心に年2～3 回おこなっていく予定。

主任研修は 2022 年度に引き続き、2023 年度も講師に黒田氏を招き、5 月に開催した。黒田氏からは管理者研修の声をかけていただいているので、2024 年度は黒田氏を招いて管理者研修を予定する。

2022 年度はおこなわなかったが、2020 年度に障害福祉基礎講座・2021 年度にステップアップ研修をおこなったメンバーを中心に、2023 年度はジャンプアップ講座をおこなった。立命館大学の田村和宏氏を招いておこなった。

そのメンバーの研修課題はまだ残るが、田村氏には基礎講座を来年度はお願いする予定。

今年度新たに「コラージュ療法」を実施した。

5 月 27 日	法人職員研修 午後：新人研修 5 分間スピーチ / 専門部会報告	救命救急 柏羽藤消防署 場所 リックはびきの
	ジャンプアップ講座 ① 6 月 24 日(土) 9:00～17:00 ② 11 月 25 日(土) 9:00～17:00	田村和宏氏 班長等クラスが、自分の職責を 理解し、実践・運動・職員集団 についての学習をおこなう
5 月 23 日(火)	主任研修 5 月 23 日(火) 事前課題あり	講師：黒田孝彦氏
10 月	法人職員研修	10 月か 1 月で虐待防止研修 援助技術研修
1 月	法人職員研修	
	コラージュ療法 ① 7 月 24 日(月) ② 8 月 28 日(月) ③ 9 月 25 日(月) ④ 10 月 23 日(月) ⑤ 11 月 27 日(月)	中谷千代子氏 事業所内や法人内でチーム をつくり、職員連携がスムーズ にできるような研修とする 参加者：竹田・田邊と・細田・ 吉田
	ケースカンファレンス 年3～4 回程度	研修進行：ケースカンファレン ス担当職員

はじめに

2024年3月31日現在

## 1 経営・管理事業報告(開催日)

	理事会	評議員会	管理者 会議	主任会議	法人職員 会議
4月			4.11.18	25	
5月	30		2.9.16.23	30	27
6月	20	19	6.13.20	27	
7月			4.11.18	25	
8月			1.8.22	29	
9月			5.12.19	26	
10月			3.10.17.31	24	21
11月			7.14.21	28	
12月	6		5.12.26	19	
1月			9.16.23	30	6
2月			6.13.20	27	
3月	21		5.12.19	26	2

理事長・常務理事出席

## 2 危機管理委員会 22第4四半: 第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期

第三者委員会	4/21	7/14	10/20	1/19	4/19
虐待防止委員会	4/21.10/20.24/4/19			身体拘束適正化委員会 7/14.1/19	

## 3 研修 (内部研修 研修委員会を中心に)

法人間連携研修ピヨピヨ福祉会合同 公開講座10/14 発達保障 近藤直子氏

コラーージュ研修	7/24.8/28.9/25.10/23.11/27	中谷千代子氏
ジャンプアップ研修	6/24(土)11/25(土)	田村和宏氏
援助技術論10/21	鴻上圭太氏	虐待防止研修1/6小口将典氏

## 4 人事

正規職員		正規外職員		無期転換	
採用	退職	採用	退職	転換	退職
0	2	2	2	1	
育休	再雇用	育休			
2	2	0			

## 5 事務局

## 1) 主な業務

法人運営	健康経営優良法人認定手続き web給与明細、大阪府の助成金、各種助成金関連、最低賃金改定への対応等
人事業務	電子システム対応による業務の簡素化。給与web明細の導入
給料業務	勤怠管理システム「クロノス」を使用した勤怠管理 キャリアアップ助成金給管理業務を管理者と共有。
経理業務	ネットバンキングを活用
請求業務	受給者証の更新時の確認が不十分で返戻(請求が通らない)となるケース有
その他	採用・健康診断に関する業務、リモートの推進

※吉川(吉川徹)社労士事務所委託

